

各位

会社名 株式会社WOWOW
代表者名 代表取締役社長 田中 晃
(コード番号 4839 東証第一部)

2016年(平成28年)日本民間放送連盟賞において オリジナル番組2作品が最優秀を同時受賞

株式会社WOWOW(本社:東京都港区、代表取締役社長 田中 晃、以下「WOWOW」)が制作し、放送したオリジナル番組2作品が、平成28年日本民間放送連盟賞 番組部門でそれぞれ最優秀を受賞しました。詳細は以下の通りです。

■番組部門 テレビ教養番組 最優秀

「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ～カラーフィルムに残された復興への祈り～」

■番組部門 テレビドラマ番組 最優秀

「ドラマW この街の命に」

「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」は、黒澤明監督『姿三四郎』など数々の名作を手掛けた映画カメラマンであり、原爆投下からわずか半年後の広島をカラーフィルムに収めた唯一の日本人である三村明の人生と映像作品に迫るドキュメンタリーです。「広島を撮影した三村の想いを検証する上でヒントや分析があるものの語り過ぎず見る者に考える余地や余韻を残している。構成の素晴らしさが印象に残る見応えのある作品である」との高い評価を受け、今回同賞を受賞しました。

「ドラマW この街の命に」は、加瀬亮、戸田恵梨香、田中裕子共演の人間ドラマで、脚本・青木研次、監督・緒方明ら実力派スタッフが犬猫の殺処分直面する行政獣医たちの葛藤と再生を描いた社会派作品です。今回、「あまり語られることのないテーマをあえて取り上げたことが高く評価される。ドラマという手法を選んだことで、作り手の思いを自然な形で訴えかけることに成功している」との評価を受け、同賞を受賞しました。

当社は、「日本民間放送連盟賞・最優秀」W受賞記念特集として、11月に該当2番組を放送する予定です。

日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟(民放連)が1953年に創設した賞です。

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトのもと、今後もオリジナルコンテンツの充実を図り、上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

【お問い合わせ先】 (マスコミ関係) 広報部 TEL03(4330)8080
(IR関係) IR経理部 TEL03(4330)8089

■「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ ～カラーフィルムに残された復興への祈り～」 概要

初回放送

2015年8月8日(土)

再放送予定

2016年11月23日(水・祝) 午前10:30 [WOWOWプライム]

番組内容 ※番組情報は初回放送時のものです。

第2次世界大戦前から戦後にかけて、日本映画界を代表する映画カメラマンとして活躍した三村明。その波乱の人生と、彼が撮影した映像に迫る。1919年に渡米し“ハリー三村”としてハリウッドで活躍した彼は、1934年に帰国後、最先端の技法で日本映画の撮影を刷新する。敗戦後、在米時代の友人の推薦でアメリカ戦略爆撃調査団に加わり、原爆投下から半年後の広島の様状をカラーフィルムに収めた唯一の日本人となる。1970年代になってようやく公開された映像は、戦争の真実を生々しく伝える。番組では、アメリカ・ワシントンD.C.の国立公文書館に眠る、三村が撮影したフィルムをHD画質化。彼が残した膨大な手記を紐解きながら、どのような想いで撮影を行なったのかを検証する。山中貞雄監督の時代劇『人情紙風船』、黒澤明の監督デビュー作『姿三四郎』など名作の撮影を手掛け、日米両国の架け橋ともなった三村の運命に、関係者の証言とともに迫る。



<スタッフ・キャスト>

企画・構成原案・取材： 清水節
ディレクター： 佐々部龍太
構成： 内田裕士
撮影： 関森崇
編集： 前嶋健治
ナレーション： 土屋裕一
手記の声： 楠大典

■「ドラマW この街の命に」 概要

初回放送

2016年4月2日(土)

再放送予定

2016年9月20日(火) 午後4:30 [WOWOWプライム]

2016年11月23日(水・祝) 午前11:15 [WOWOWプライム]



番組内容 ※番組情報は初回放送時のものです。

動物愛護センターに行政獣医として配属された牧田洋（加瀬亮）は国の法律に従い業務を遂行する。飼えなくなった、鳴き声がうるさい、かまれたなど、さまざまな理由で捨てられた犬や猫を殺処分する業務だ。彼は“誰かがやらなければならない仕事”と自分に言い聞かせながらも悩み苦しんでいる。同僚の行政獣医・幡枝亜紀（戸田恵梨香）は病院に通い精神安定剤が手放せず、作業班の志賀悟（渋川清彦）は「犬がしゃべる」と言ひだし悪夢にうなされる。職員の誰もが心にふたをして、処分を続けていた。そんなある日、獣医・高野綾子（田中裕子）がセンターの新所長として配属される。高野は着任早々「犬と猫には全部名前を付けて」と言い、トリマーを呼び寄せ動物たちをきれいにする。現状を変えるという高野の想いに、背中を押された牧田たちは殺処分を減らそうと動き始める。しかし、無責任な飼い主はいなくなり、職員たちは大きな選択を迫られる。

<スタッフ・キャスト>

脚本：青木研次（『独立少年合唱団』、『いつか読書する日』、『家路』）

監督：緒方明（『独立少年合唱団』、『いつか読書する日』）

音楽：c o b a（『顔』、『のんちゃんのり弁』）

出演：加瀬亮 戸田恵梨香 田中裕子

渋川清彦 黒田大輔 岡山天音 諏訪太郎 篠原篤 柳英里紗 高橋長英 島かおり きたろう 熊谷真実